

平成29年度
事業報告書

社会福祉法人 輪島市社会福祉協議会

目 次

1. 総務課

- ①法人運営事業 1
- ②地域包括支援センター職員派遣 3

2. 地域福祉課

- ①ボランティアセンター事業 4
- ②福祉サービス利用支援事業 6
- ③生活・介護支援サポーター養成事業 7
- ④高齢者スポーツ交流事業 8
- ⑤共同募金配分金事業の実施 9
- ⑥ふれあいプラザ二勢事業
 - 介護予防アクティビティ教室 11
 - ふれあいプラザ二勢管理運営事業 12
 - シルバーハウジング生活援助員派遣事業 13
 - 筋力向上トレーニング事業 14

3. 介護福祉課

- ①有償運送事業 15
- ②電話訪問事業 15
- ③障害者福祉サービス事業 16
- ④訪問介護事業(ヘルパーステーションほほえみ) 17
- ⑤居宅介護支援事業(介護安心センター) 18

4. 児童福祉課

- ①輪島市児童センター事業 19
- ②輪島市もんぜん児童館事業 20
- ③ジュニアボランティア事業 21
- ④放課後児童健全育成事業(児童クラブ) 22

5. 暮らしサポートセンターわじま

- ①生活困窮者自立相談支援事業 23
- ②生活福祉資金貸付事業 24
- ③北山貸付事業 25
- ④生活困窮者福祉資金貸付事業 25
- ⑤心配ごと相談事業 26

6. 災害ボランティアセンター

- ①災害ボランティア運営連絡会 27

その他の各種福祉推進事業

- 1. 出前福祉教室 28
- 2. 職員の出張及び研修状況 29

事業実施報告

1. 総務課

① 法人運営事業

年間目標			
輪島市社会福祉協議会の運営推進体制の安定と活動の充実を図り、地域福祉の向上に努める。			
実 績			
法人経営基盤の強化・充実			
・理事会、評議員会の開催回数 (単位：回)			
	H27 年度	H28 年度	H29 年度
理事会	3	5	5
評議員会	4	4	3
・監事による監査の実施			
平成 28 年度の事業報告等について平成 29 年 5 月 25 日監事 2 名による決算監査を受けたところ、適正であるとの意見であった。			
・適正な労務管理及び各種法令に基づく諸規程の整備及び改正			
組織規程の一部改正 H29. 4. 26 施行			
職員就業規則の一部改正 H29. 4. 1 施行			
給与規程の一部改正 H29. 4. 26 施行 (H29. 4. 1 適用)			
育児・介護休業等に関する規則の一部改正 H29. 10. 1 施行			
介護職員等の処遇改善規程の一部改正 H30. 3. 31 施行			
・自主財源の確保			
①社協会員制度の理解と加入促進 (一般・特別・賛助会費) (件数・実績額)			
	H27 年度	H28 年度	H29 年度
一般会費 (世帯)	9,478 件	9,496 件	9,196 件
	1,907,020 円	1,907,000 円	1,842,100 円
特別会費 (企業・団体)	53 件	55 件	49 件
	411,000 円	464,000 円	396,000 円
賛助会費 (個人)	168 件	170 件	147 件
	182,700 円	186,700 円	183,700 円
合計金額	2,530,360 円	2,557,720 円	2,421,800 円
※実績額の10%を地区社会福祉協議会へ還元			

②寄附金の状況

	H27 年度	H28 年度	H29 年度
件数	10 件	33 件	28 件
金額	489,751 円	852,902 円	691,279 円

・新事務所の建設

ふれあい健康センターの本所機能と、文化会館の介護保険事務所を一箇所に集め、効率的な運営を図り、市民福祉の発展・向上に資するため旧河井保育所跡に新事務所を建設した。

□敷地面積 1,022.53 m²

□床面積 490.22 m²

□構造・階数 木造 2 階建

□設計監理 谷口建築設計事務所

□施 工 有限会社TAKANO

□事務所内概要 1 階 相談室A・B、地域福祉課、くらしサポートセンターわじま、
介護安心センター

2 階 会議室C・D・E、ヘルパーステーションほほえみ、児童福祉課、
総務課

・課長会議

各課業務の遂行及び連絡調整、業務の遂行に係る課題及び問題の対応などを協議するための会議を開催した。

□開催回数 12回

□構 成 会長、事務局長、総務課長、地域福祉課長、介護福祉課長、児童福祉課長

□内 容 事業実施に関する取り組み報告、各課の課題など

広報活動

・越後屋版社協だより 年 10 回発行（10 月と 2 月除く）

「あいちゃん思いやりの 4 コマ漫画・イラスト」を募集し、子どもたちの描いた 4 コマ漫画を掲載している。

子どもたちの思いやりの心を育てることや発表の場を提供することで子どもの地域活動に参加する喜びや自信になっている。また保護者からは「見えています」との声をいただき親子の会話をつくることにも役立っている。

・社協だより 年 2 回発行（10 月 No23、2 月 No24）

興味を持って見ていただくために、写真や参加者の声を多く掲載した。

- ・ホームページ
イベント情報等を随時更新した。
- ・フェイスブック
児童クラブの日々の様子や、ふれあいプラザ二勢の様子、イベントを掲載した。
読者数（いいね数）平成 29 年 4 月から平成 30 年 4 月の間に 112 人から 158 人に増加した。
- ・子育て応援アプリ のとノットアローンへの行事掲載
子育て中の母親向けウェブアプリ「のとノットアローン」に輪島市児童センターともんぜん児童館の行事を随時掲載した。
子育て中の母親の孤立防止とボランティア人口を増やすために今後も情報提供を続ける。

② 地域包括支援センター職員派遣

年間目標
輪島市地域包括支援センターに職員を 2 名派遣し、地域住民の心身の健康の維持、生活の安定、保健・福祉・医療の向上に寄与する。
実績
輪島市地域包括支援センターに職員を 2 名派遣した。 上記年間目標の達成以外にも、行政業務の執行に携わることにより職員の資質向上が図られたほか社会福祉協議会の本来事務である地域福祉に関し多くの知見を深めることができた。

2. 地域福祉課

① ボランティアセンター事業

年間目標
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア全国フォーラム（広島県）に参加し、全国のボランティアの方々と情報交換する。 ・能登北部地域ボランティアとの連携を深めるため、交流会と研修会を実施する。 ・ボランティアに暑中見舞いハガキ作成を依頼し、市内全域高齢者の方を対象に送る。 （1,000枚作成目標） ・ボランティア育成・資質向上のための研修会を開催する。 ・ボランティア同士が普段から顔見知りの関係をつくるため、ボランティアフェスティバル輪島を開催する。 ・ボランティア活動に対し助成金を支出し、活動を支援する。 （サロン活動1カ所・配食サービス8地区）
実 績
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア全国フォーラム2017に参加 とき：平成29年11月18日～19日　ところ：広島県　参加者：5人 ボランティアを含めた地域づくりの講演会やシンポジウム、分科会に参加し、全国から集まったボランティア同士の情報交換や交流の機会となった。市内ボランティアへも情報提供を行いボランティア活動の活性化につなげたい。 ・能登北部地域ボランティア連絡会 とき：平成29年11月9日　ところ：珠洲商工会議所会館　参加者：能登北部管内計96人 講演会「不登校・ひきこもり」家族を支える～私たちにできることは～ 当事者やボランティアグループの事例発表を通して、ボランティアとしてできることは何かを考える機会となった。 ・暑中見舞いボランティアの実施 とき：平成29年5月～6月　参加者：計226人 場所：ふれあい健康センター（8回）、輪島高校、門前高校、輪島中学校、市内児童クラブ、児童センター、もんぜん児童館、ふれあいプラザ二勢 子どもから大人までハガキづくりを通して交流を深め、ボランティア活動に関心をもつ機会となった。完成したハガキ1,165枚が民生委員児童委員を通して市内75歳以上1人暮らしの方へ届けた。 ・ボランティア講座「ボランティアとは」の開催（回数：5回　参加者：計104人） 航空大学校、4/28　輪島高校、6/5、6/9　2回　門前西小学校 6/12

・傾聴ボランティア交流会の開催

とき：平成 29 年 8 月 3 日 ところ：ふれあい健康センター 参加者：22 人

羽咋市傾聴ボランティア「もしもし電話訪問フレンド」と輪島市傾聴ボランティア「元気かいね」が活動紹介、情報交換等しながら交流し、お互いのグループの現在の課題について話し合った。

・輪島市ボランティア連絡協議会への支援

役員会 とき：平成 29 年 6 月 22 日 ところ：ふれあい健康センター 参加者：16 人

総会 とき：平成 29 年 7 月 13 日 ところ：ふれあい健康センター 参加者：18 人

ボランティア連絡協議会の年間計画立案やフェスティバル開催時の計画、実施について支援した。

・ボランティアフェスティバル輪島の開催

とき：平成 29 年 11 月 11 日 ところ：ふれあい健康センター 参加者：111 人

グループの活動発表、講話、フリータイム（喫茶・販売・体験・展示コーナー）等を通してボランティア同士の交流につながった。体験コーナーでは、ウクレレの演奏体験を行い、30 年度立ち上げの「ウクレレの会」のきっかけとなった。音楽を通じたボランティア交流、世代間交流にもつなげていきたい。

・ボランティア活動への助成

ぽっかぽかサロン 見守り訪問活動、独居高齢者対象の会食会の実施

サロンの開催 11 回、参加者：計 208 人

配食ボランティア 独居高齢者への配食サービスの実施

8 グループ、実施回数：計 47 回 対象人数：計 3,687 人

・ボランティアコーディネート

ボランティア相談 22 件、活動資金調達支援 6 件、航空大学校の地域交流活動への支援（5 回）

② 福祉サービス利用支援事業

年間目標																									
<ul style="list-style-type: none"> 市福祉課、市健康推進課をはじめとする関係機関、くらしサポートセンターわじまなどと連携し、制度の周知を図るとともに、支援が必要な方と着実に契約を行う。 基幹内社会福祉協議会との連携を強化する。(円滑な全市町方式移行に向けて勉強会・研修会を行う) ※平成 30 年度から全市町社協で実施 生活支援員登録者数を増やす(H28 輪島市 7 名、珠洲市 3 名、能登町 5 名、穴水町 2 名) 																									
実績																									
<ul style="list-style-type: none"> 利用者増加に対する組織体制を強化 困難ケースについては関係機関(福祉課、地域包括支援センター、能登北部保健センター)に随時相談し連携しながら対応した。 H29 年度 サービス調整会議出席 2 回 H29 年度 地域ケア会議出席 1 回 契約件数の増加 																									
【年度別市町別契約人数】 (単位：人)	<table border="1"> <caption>年度別市町別契約人数</caption> <thead> <tr> <th>市町</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>輪島市</td> <td>15 (4)</td> <td>17 (7)</td> <td>18 (4)</td> </tr> <tr> <td>珠洲市</td> <td>11 (2)</td> <td>12 (2)</td> <td>6 (0)</td> </tr> <tr> <td>穴水町</td> <td>2 (0)</td> <td>3 (1)</td> <td>4 (0)</td> </tr> <tr> <td>能登町</td> <td>3 (0)</td> <td>3 (1)</td> <td>3 (0)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>30 (6)</td> <td>35 (11)</td> <td>31 (4)</td> </tr> </tbody> </table>	市町	H27年度	H28年度	H29年度	輪島市	15 (4)	17 (7)	18 (4)	珠洲市	11 (2)	12 (2)	6 (0)	穴水町	2 (0)	3 (1)	4 (0)	能登町	3 (0)	3 (1)	3 (0)	合計	30 (6)	35 (11)	31 (4)
市町	H27年度	H28年度	H29年度																						
輪島市	15 (4)	17 (7)	18 (4)																						
珠洲市	11 (2)	12 (2)	6 (0)																						
穴水町	2 (0)	3 (1)	4 (0)																						
能登町	3 (0)	3 (1)	3 (0)																						
合計	30 (6)	35 (11)	31 (4)																						
() は新規契約者数																									
【平成 29 年度市町別度対象者別契約人数】 (単位：人)	<table border="1"> <caption>契約対象者状況 (輪島市)</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症</td> <td>22.2%</td> </tr> <tr> <td>知的障害者</td> <td>5.6%</td> </tr> <tr> <td>精神障害者</td> <td>5.6%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>66.7%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	割合	認知症	22.2%	知的障害者	5.6%	精神障害者	5.6%	その他	66.7%														
対象者	割合																								
認知症	22.2%																								
知的障害者	5.6%																								
精神障害者	5.6%																								
その他	66.7%																								
<ul style="list-style-type: none"> 基幹内の社協との連携と生活支援員の増員について 支援員の訪問後の援助実施記録をチェックし対象者の状況把握に努めた。 体調不良等の記載がある場合、早急に受診できるよう親族や担当ケアマネに連絡し、その旨を市町社協の担当者にも情報提供した。 平成 30 年度全市町社協方式への移行に伴い、各社協へスムーズに引き継ぎができた。 平成 30 年 3 月末の引継ぎ人数 珠洲市利用者 6 名 穴水町社協利用者 4 名 能登町社協利用者 3 名 計 13 名 平成 29 年度の生活支援員登録は輪島市新規 2 名増であった。 																									

③ 生活・介護支援サポーター養成事業

年間目標													
<p>介護の知識、スキルを身につけ実践できる人材を育成する。 養成講座修了者に対する活動支援として学習会、茶話会を実施しボランティア情報の提供とサポーター同士の交流を支援する。</p> <p>・研修時間「20時間程度の講義と実習」 ・募集人数「20名」</p>													
実績													
<p>・研修内容</p> <p>第1回 平成30年1月16日 輪島市の高齢者の状況、高齢者サービスについて 第2回 平成30年1月23日 高齢者のからだと心、病気、高齢者支援について 第3回 平成30年1月30日 認知症サポーター養成講座、介護予防の運動について 第4回 平成30年2月6日 傾聴について、サロン運営とレクリエーションについて 第5回 平成30年2月13日 輪島市内の高齢者グループで実習 第6回 平成30年2月20日 グループワーク～地域で、家で暮らし続けるとは？～ フォローアップ研修 3月14日 わじまサポートクラブ21茶話会（修了生との交流会）</p> <p>・生活介護支援サポーター養成講座養成人数（H25～H29）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25年度</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加人数</td> <td>9人</td> <td>12人</td> <td>17人</td> <td>20人</td> <td>26人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・養成修了後の活動支援として わじまサポートクラブ21茶話会 年11回実施 （2月は雪の為に中止）</p> <p>延べ参加人数 132人 1回平均参加人数 12人</p> <p>平成27年度の養成講座修了後、修了生が地域のニーズについての情報収集をしたり、活動につなげる場として「わじまサポートクラブ21」を立ち上げ、毎月茶話会をしてサポーター同士の交流を支援している。</p> <p>平成22年度から生活介護支援サポーター養成講座を受託し、平成29年度までに172人を養成したが初期に講座を受けたサポーターは高齢になり、実際活動意欲のあるサポーターは27年度養成からのサポーターである。毎月の茶話会でサロン等のボランティア紹介をすると関心を持って参加し活動している。今後も活動情報を提供するとともに、地域での生活支援につながるような関わりを続けていきたい。</p>		年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	参加人数	9人	12人	17人	20人	26人
年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度								
参加人数	9人	12人	17人	20人	26人								

④ 高齢者スポーツ交流事業

年間目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者スポーツ交流の実施（のと里山空港杯高齢者スポーツ大会） ・ 高齢者と障害者のさわやか運動会の実施 			
実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者スポーツ交流の実施（のと里山空港杯高齢者スポーツ大会） 			
年月日	場所	参加者数	成績
平成 29 年 5 月 10 日	のと里山空港多目的広場 ターミナルビル 4 階	25 人	スカットボール、ディスクゴルフ 準優勝
平成 29 年 10 月 10 日		29 人	ディスクゴルフ 優勝
<p>ふだんからふれあいプラザ二勢でニュースポーツを経験し練習する機会を作り、大会に自信を持って参加できるようにしている。</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者と障がい者のさわやか運動会 			
年月日	場所	総参加者数	
平成 29 年 10 月 20 日	一本松総合運動公園 サン・アリーナ	403 人	
（ボランティア含む）			
<p>高齢者、障がい者の運動会にとどまらず、要約筆記、傾聴ボランティア、生活・介護支援サポーター養成講座修了者等のボランティアの積極的な関わりで実施できた。近年、さわやか運動会はボランティアの関わりなしでは開催できない状況となっている。ボランティア側としても大切な活動の場となっている。ボランティアが高齢者や障害者を理解し地域での支援のきっかけになるよう、当日の役割分担等にも注意して企画した。</p>			

⑤ 共同募金配分金事業の実施

年間目標
<ul style="list-style-type: none"> ・募金運動の周知、協力依頼 ・輪島社協への配分金内容 <ul style="list-style-type: none"> 輪島市社会福祉大会の開催 社協だよりの発行 暑中見舞いのボランティアの実施 ボランティア全国フォーラムへの参加 ボランティアフェスティバル輪島の開催 ふれあいプラザ二勢ジュニアボランティア活動の実施 福祉講座の実施 福祉出前講座の実施 子どもの居場所づくりの実施 <ul style="list-style-type: none"> (わもっそ子どものレストラン開催、小学生の学習支援教室) 集える場づくりの実施 (じどうクラブまつり)
実 績
<ul style="list-style-type: none"> ・募金運動の周知、協力依頼 <ul style="list-style-type: none"> 広報誌 社協だより (10/1 発行) 全戸配布協力依頼 赤い羽根だより (2/1 発行) 全戸配布実績紹介 インターネットによる掲載 <ul style="list-style-type: none"> 赤い羽根データベースはねっと 輪島市共同募金委員会の助成情報紹介 ・共同募金配分金により実施した輪島市社協事業 <ol style="list-style-type: none"> 1. 輪島市社会福祉大会の開催 <ul style="list-style-type: none"> とき：平成 29 年 8 月 10 日 ところ：輪島市文化会館大ホール 民生委員・児童委員協議会、老人クラブ連合会、ボランティア連絡協議会に案内送付 展示コーナー設置施設との連絡調整をした。 2. 社協だよりの発行 (2 頁 広報活動に記載) 3. 暑中見舞いボランティアの実施 (ボランティアセンター事業に記載) 4. ボランティア全国フォーラムへの参加 (ボランティアセンター事業に記載) 5. ボランティアフェスティバル輪島の開催 (ボランティアセンター事業に記載) 6. ふれあいジュニアボランティア二勢の実施 (2 回) <ul style="list-style-type: none"> とき：平成 29 年 8 月 2・3 日 ところ：ふれあいプラザ二勢 参加者：15 人 大屋児童クラブの 4～6 年生にボランティア体験をしてもらった。 児童のダンス発表をみたり、話しかける高齢者の様子から意欲向上に繋がっていると思われる他、児童たちも高齢者の生活や食事等、高齢者を理解する機会となり共に活動を楽しんでいる様子だった。

7. 福祉講座「身近な人とのコミュニケーションを考えよう」の開催

とき：平成 29 年 11 月 26 日 ところ：ふれあい健康センター 参加者：24 人
障がいのある人や関わる身近な人がコミュニケーションの取り方について、思っていることなどを書いたり、声に出したりゲームで交流し学んだ。

(平成 28 年度地域研修会のアンケート結果より実施)

8. 福祉出前講座「介助犬について知ろう」の実施

とき：平成 29 年 7 月 21 日 ところ：ふれあい健康センター 参加者：51 人
小学生が石川県唯一の介助犬タフィーとユーザーの平野さんと交流した。
身体に障害のある方の身の周りの世話をする介助犬への理解を深めた。

9. 子どもの居場所づくりの実施

・「わ・もっそ こどものレストラン」(食の居場所と学習支援)の実施

とき：平成 29 年 4 月 9 日～平成 30 年 3 月 27 日 計 16 回開催 参加者：567 人
小中学生が参加しボランティアの協力のもと、子どもたちが自分で作ってみんなで食べて片づけをする。卵焼きが焼けたり、ごはんを炊けるようになり、お皿を洗って片付ける等、自分でできることが増えてきた。ボランティアから勉強を教えてもらったり、話を聞いてもらっている。開催地域の増加を今後も検討し参加者増加を図る。

・小学生の学習支援教室

とき：平成 29 年 7 月 25 日～平成 30 年 2 月 28 日 計 11 回開催 参加者：81 人
市内の小中学生を募集して、宿題や苦手な教科の学習に取り組んだ。塾の講師や教員資格のある方、大学生が学習を指導した。「勉強がわかってうれしい、また勉強したい」と回を重ねるたびに前向きな声が聞かれた。海外から移住してきた児童が毎回参加し、ここで積極的に学習し他校児童とのつながりもできた。

10. 集える場づくりの実施

・「わじま大すき じどうクラブまつり」の開催

とき：平成 29 年 8 月 18 日 ところ：サン・アリーナ 参加者：320 人
輪島市内の放課後児童クラブに通う児童と市内の小中学生、輪島高校等地域のボランティアが参加し交流した。
子どもたちが司会進行、遊びのコーナーとお店を担当し、ボランティアが防災・福祉コーナーを担当した。児童クラブのけん玉ダンス発表等日頃の活動が参加者に評価され子どもたちの自信につながった。

⑥ ふれあいプラザ二勢事業（指定管理）
 介護予防アクティビティ教室（介護予防教室）

年間目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対して、認知症予防に効果的な音楽療法、下肢筋力向上体操、外出支援、セルフで行うフットケア、口腔ケアを継続的に行い、ADL（日常生活動作）を向上させることで身体の状態を維持する。 ・わじまケアネット連絡協議会が開催する研修会に参加し、職員の資質向上を目指す。 ・体操指導をする為の勉強会で技術を高める。 	
実績	
・開催回数	120回（利用者一人につき月2回の実績）
・延べ人数	1,191名（実利用者数 54名）
・内容（プログラム）について	
日常生活動作の向上	
下肢筋力向上体操実施回数	120回
口腔ケア・嚥下体操実施回数	120回
セルフで行うフットケア	25回
認知症予防	
脳トレ（計算ドリル等）実施回数	120回
音楽療法実施回数	9回
ボランティアとの交流	7回
手品等の披露の他、プログラムを一緒にする中で交流した。	
生活支援	
市内商店と連携し利用者の買い物を支援した。（魚、豆腐、パン等の移動販売）	
利用日以外に電話で体調確認等し生活状況を把握した。	
・職員研修	
輪島市介護予防事業所職員スキルアップ研修	
とき：平成29年8月31日	参加：職員4名
内容：介護予防の目的確認、各事業所での介護予防の取り組みについて情報交換	
初級障がい者スポーツ指導員養成講習会	
とき：平成29年8月26・27日、9月2日、11月5日	
参加：職員1名	
内容：障がいを持つ方の特徴や留意点、スポーツ体験実習	

ふれあいプラザ二勢管理運営事業

年間目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・地域高齢者の生きがい活動としての健康づくり教室と体操サロンを継続する。 (毎週水曜日開催) ・多様な世代や人が交流できる機会や場所づくりを行う。 ・生きがい活動の拠点としてボランティアの受け入れを行う。 ・二勢町老人会の定例会補助を継続する。 ・地域防災の拠点となるよう「二勢防災マップ」を作成し、掲示することで住民の安心につなげる。 				
実 績				
<ul style="list-style-type: none"> ・地域高齢者の生きがい活動としての健康づくり教室の継続 健康づくり教室 開催日数 49回 延べ人数 968人 (実利用数 28人) 卓球利用者 延べ人数 1,019人 介護予防教室以外の施設利用が増えた。介護予防のプログラムの企画を今後もする。 ・地域住民との交流を目的としたイベント シルバーハウジング交流会 (団地交流会) を兼ねて4回実施 交流会を通じて防災の意識や、住民同士の安否確認の情報などが共有できた。 ・ボランティアの受け入れ 				
	とき	ボランティア	人数	備考
	平成29年 8月 2日	大屋小学校4~6年生	8人	大屋児童クラブ
	平成29年 8月 3日	大屋小学校4~6年生	7人	大屋児童クラブ
	平成29年12月25日	大屋小学校4~6年生	10人	大屋児童クラブ
	平成29年12月26日	大屋小学校4~6年生	12人	大屋児童クラブ
	平成30年 3月26日	大屋小学校2~6年生	12人	大屋児童クラブ
		合 計	49人	
<p>内容：歌やけん玉ダンスの披露、おやつ作り、レクリエーション、ボランティア活動を通じて多様な世代が交流した。施設やサロン等で活動するボランティアや活躍する場を増やしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二勢老人会の定例会 老人クラブ活動支援 (会場準備、体操指導など) 27回実施 地域包括支援センターが推進している「いきいき百歳体操」教室の立ち上げと支援。 ・体操サロンの実施 年 48回実施 延べ人数 694名 (実人数 20名) 介護予防に関心のある高齢者の定期的な運動支援や展示してある手作り作品の観賞等を通して参加者同士の交流を促し介護予防拠点施設という認識をもってもらった ・防災マップの掲示 施設周辺の防災情報が分かるようにハザードマップを玄関に掲示した。 シルバーハウジング交流会やサロン開催時に参加者に掲示物について説明した。 				

シルバーハウジング生活援助員派遣事業

年間目標
<ul style="list-style-type: none"> ・都市整備課、健康推進課との情報共有に努める。 ・地域住民との交流を目的としたイベントを実施する。 年4回 ・生活援助員のAED操作訓練を実施し入居者の安心につなげる。 年1回
実 績
<ul style="list-style-type: none"> ・都市整備課、健康推進課との連携内容 救急車、緊急ブザー対応についてただちに対応し、対応内容について報告し必要時指導を受けている。また、訪問時に得た体調不良、生活上の悩み等の情報については随時報告した。 ・地域住民との交流を目的としたイベント ボランティアの協力で4回実施 シルバーハウジング交流会（団地交流会） <ul style="list-style-type: none"> ① 平成29年6月15日 心の健康づくり講話（中島徳子氏） 参加者15人 ② 平成29年9月29日 アンガーマネジメント講話（澤田慎一郎氏）参加者12人 ③ 平成29年12月5日 救急救命講習会（消防暑職員） 参加者8人 ④ 平成30年3月23日 出前をとって食べよう会&防災を考える 参加者8人 ・毎日の訪問や、月1回の電話の安否確認で、安心や安全が得られるよう支援する。 <ul style="list-style-type: none"> 訪問回数 552回 電話安否確認 延べ確認回数 368件 関係機関との連携 75件 誤報（ブザーの誤操作等） 19件 真報 1件 <p>サロンや交流会をきっかけに安否確認の業務がスムーズになった</p> ・生活援助員のAED訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> 1回実施 とき：平成29年12月5日 参加：職員5人 団地入居者の安心に繋げるためシルバーハウジング交流会を兼ねて実施した。

筋力向上トレーニング事業

年間目標
<ul style="list-style-type: none"> ・教室を1日2回（月、火、木、金の午前、午後）実施する。 ・住民に対し運動療法を啓発する広報を実施する。 ・理学療法士、作業療法士の医学的見地から個別指導を受け事業に取り組む。 ・運動器機能向上関連の研修会に参加し、職員の質の向上を目指す。
実 績
<ul style="list-style-type: none"> ・教室実施回数 350回 利用延べ人数 767人（実利用者数 26人） これまで1クール3ヶ月とし参加者みな同時に利用開始の体制であったが、H29年度は申請があった時に受け入れるようにした。市立輪島病院職員用に事業説明パンフレットを作成したことで病院職員からの紹介が増え、退院後も引き続きリハビリできる環境を作ることができた。 ・広報 筋力向上トレーニング教室のパンフレットを作成し、地域包括支援センターや輪島病院リハビリ室に配布した。 二勢町内会の回覧板を利用して筋力向上トレーニングや健康づくり教室の案内をした。 フェイスブックを利用して筋力向上トレーニング事業の様子を広報した。 ・理学療法士、作業療法士の指導について 病院理学療法士にH29年度は23回指導を受けた。また、必要時、地域包括支援センターの作業療法士に相談し指導を受けた。（訪問指導1回、電話指導2回） ・研修について 介護予防アクティビティ教室職員研修参照 利用者にはサービス終了後も自宅で継続して取り組めるプログラムを指導している。

3. 介護福祉課

① 有償運送事業

年間目標																											
市へ届け出をした歩行が困難な要介護者や、障がい者の方が車いすやストレッチャーで安全に受診できるよう、有償で送迎を行う。																											
・利用者の安全第1の送迎 ・交通関係法令遵守 ・送迎時間厳守																											
実績																											
平成28年度より、年間を通して利用者が増えた為、利用回数が219回増えた。																											
平成29年度 延利用回数1,459回 月平均121.5回(H28年度1,240回 月平均103.3回)																											
<p>平成29年度月別利用回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>利用回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>113</td></tr> <tr><td>5月</td><td>118</td></tr> <tr><td>6月</td><td>130</td></tr> <tr><td>7月</td><td>122</td></tr> <tr><td>8月</td><td>118</td></tr> <tr><td>9月</td><td>116</td></tr> <tr><td>10月</td><td>121</td></tr> <tr><td>11月</td><td>121</td></tr> <tr><td>12月</td><td>109</td></tr> <tr><td>1月</td><td>132</td></tr> <tr><td>2月</td><td>114</td></tr> <tr><td>3月</td><td>145</td></tr> </tbody> </table>		月	利用回数	4月	113	5月	118	6月	130	7月	122	8月	118	9月	116	10月	121	11月	121	12月	109	1月	132	2月	114	3月	145
月	利用回数																										
4月	113																										
5月	118																										
6月	130																										
7月	122																										
8月	118																										
9月	116																										
10月	121																										
11月	121																										
12月	109																										
1月	132																										
2月	114																										
3月	145																										

② 電話訪問事業

年間目標	
在宅の高齢者が安心して暮らせる様見守り体制の強化と、孤立感の解消の為の傾聴活動を電話訪問により実施する。	
・傾聴研修を受けたボランティア17名が利用者60名に月2回電話訪問を実施する。	
・広く周知し、利用者の増加を目指す。	
・年2回ボランティアの交流会を開催する。	
実績	
月2回傾聴ボランティアが申し込みのあった高齢者宅に電話を行い、孤立や孤独の防止を図った。また、電話訪問事業の周知を行い利用者増に努めた。	
茶話会・連絡会を2回開催しボランティアの交流も図った。利用者数は新規申し込み者数より辞めた方の数が上回り利用者が減った。	
今後も電話訪問事業の周知を行い高齢者が安心して暮らせるよう努める。	
平成29年度	電話訪問延回数 1,265回 月平均105.4回
	ボランティア延人数 217人
	利用者数 55人 新規利用者8名 中止者12名
	(H28年度 59人)

③ 障害福祉サービス事業

年間目標																																																					
<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害、知的障害、精神障害のある方が安心して安全に生活できるよう支援する。きめ細やかな気持ちのこもったサービスに心がけ、利用される方の満足が得られるよう努める。 ・同行援護のサービスを提供する事で、安全に移動できるよう支援する。 ・代筆や代読のサービスを行い安心して生活できるよう支援する。 ・新型インフルエンザに対する事業継続計画に沿い適切な対応をとる。 	利用者数 月平均 20名																																																				
実績																																																					
<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護延人数は H28 年度より 14 人下回った。 ・同行援護延人数は H28 年度より 7 人下回った。 <p>要因として、居宅介護は 65 歳以上介護保険優先となり介護に移行し、同行援護は月 1 回の受診が 2 ヶ月に 1 回の利用となった方がいる。</p> <p>平成 29 年度 居宅介護利用延人数 208 人 同行援護利用延人数 17 人 (H28 年度 222 人) (H28 年度 24 人)</p>																																																					
<p>月別利用人数</p> <table border="1"> <caption>月別利用人数</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>居宅介護</th> <th>同行訪問</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>20</td><td>2</td><td>22</td></tr> <tr><td>5月</td><td>19</td><td>1</td><td>20</td></tr> <tr><td>6月</td><td>19</td><td>2</td><td>21</td></tr> <tr><td>7月</td><td>17</td><td>1</td><td>18</td></tr> <tr><td>8月</td><td>19</td><td>1</td><td>20</td></tr> <tr><td>9月</td><td>17</td><td>1</td><td>18</td></tr> <tr><td>10月</td><td>17</td><td>1</td><td>18</td></tr> <tr><td>11月</td><td>17</td><td>2</td><td>19</td></tr> <tr><td>12月</td><td>17</td><td>1</td><td>18</td></tr> <tr><td>1月</td><td>16</td><td>2</td><td>18</td></tr> <tr><td>2月</td><td>14</td><td>1</td><td>15</td></tr> <tr><td>3月</td><td>16</td><td>2</td><td>18</td></tr> </tbody> </table>		月	居宅介護	同行訪問	合計	4月	20	2	22	5月	19	1	20	6月	19	2	21	7月	17	1	18	8月	19	1	20	9月	17	1	18	10月	17	1	18	11月	17	2	19	12月	17	1	18	1月	16	2	18	2月	14	1	15	3月	16	2	18
月	居宅介護	同行訪問	合計																																																		
4月	20	2	22																																																		
5月	19	1	20																																																		
6月	19	2	21																																																		
7月	17	1	18																																																		
8月	19	1	20																																																		
9月	17	1	18																																																		
10月	17	1	18																																																		
11月	17	2	19																																																		
12月	17	1	18																																																		
1月	16	2	18																																																		
2月	14	1	15																																																		
3月	16	2	18																																																		

④ 訪問介護事業（ヘルパーステーションほほえみ）

年間目標																																																																		
・利用者や家族が安心して生活できるよう支援する。																																																																		
・介護サービスの評価、研修等を通じて、職員や介護サービスの資質向上を目指す。																																																																		
・特定事業所加算Ⅱの業績を目指す。																																																																		
職員体制	常勤ヘルパー3名、登録ヘルパー6名																																																																	
利用者数	月平均 介護 38名 介護予防 12名																																																																	
加算	特定事業所加算Ⅱ 処遇改善加算																																																																	
実績																																																																		
<p>利用者が自宅で有する能力に応じた生活ができ、本人・家族が安心して生活できるよう支援した。また、介護サービスの向上をめざし研修会に参加した。H28年度より登録ヘルパーが2名減、臨時ヘルパーが1名増となった。障害者福祉サービス利用者から介護保険への移行もあったが利用者数は増えなかった。</p> <p>介護は毎日型の利用者が小規模多機能や施設入所・死亡等で訪問回数が1,502回減少している。予防・総合支援の訪問回数は増加である。</p>																																																																		
<p>平成29年度延利用者数</p> <p>介護 272人 月平均22.6人（H28年度305人 平均25.4人）</p> <p>予防介護・日常生活総合支援 193人 月平均16.0人（H28年度194人 平均16.2人）</p>																																																																		
<table border="1"> <caption>平成29年度延利用者数（月別）</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>介護</th> <th>予防</th> <th>総合</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>18</td><td>3</td><td>1</td><td>22</td></tr> <tr><td>5月</td><td>15</td><td>3</td><td>3</td><td>21</td></tr> <tr><td>6月</td><td>14</td><td>3</td><td>3</td><td>20</td></tr> <tr><td>7月</td><td>14</td><td>3</td><td>3</td><td>20</td></tr> <tr><td>8月</td><td>13</td><td>4</td><td>4</td><td>21</td></tr> <tr><td>9月</td><td>9</td><td>7</td><td>7</td><td>23</td></tr> <tr><td>10月</td><td>8</td><td>7</td><td>8</td><td>23</td></tr> <tr><td>11月</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>24</td></tr> <tr><td>12月</td><td>5</td><td>10</td><td>10</td><td>25</td></tr> <tr><td>1月</td><td>4</td><td>11</td><td>11</td><td>26</td></tr> <tr><td>2月</td><td>3</td><td>10</td><td>10</td><td>23</td></tr> <tr><td>3月</td><td>0</td><td>15</td><td>15</td><td>30</td></tr> </tbody> </table>		月	介護	予防	総合	合計	4月	18	3	1	22	5月	15	3	3	21	6月	14	3	3	20	7月	14	3	3	20	8月	13	4	4	21	9月	9	7	7	23	10月	8	7	8	23	11月	8	8	8	24	12月	5	10	10	25	1月	4	11	11	26	2月	3	10	10	23	3月	0	15	15	30
月	介護	予防	総合	合計																																																														
4月	18	3	1	22																																																														
5月	15	3	3	21																																																														
6月	14	3	3	20																																																														
7月	14	3	3	20																																																														
8月	13	4	4	21																																																														
9月	9	7	7	23																																																														
10月	8	7	8	23																																																														
11月	8	8	8	24																																																														
12月	5	10	10	25																																																														
1月	4	11	11	26																																																														
2月	3	10	10	23																																																														
3月	0	15	15	30																																																														
<p>平成29年度訪問回数</p> <p>介護 3,326回 月平均277.2回（H28年度4,828回 平均402.3回）</p> <p>予防・日常生活総合支援 1,214回 月平均101.1回（H28年度1,088回 平均90.2回）</p>																																																																		
<table border="1"> <caption>平成29年度訪問回数（月別）</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>介護</th> <th>予防</th> <th>総合</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>92</td><td>15</td><td>18</td><td>125</td></tr> <tr><td>5月</td><td>88</td><td>18</td><td>18</td><td>124</td></tr> <tr><td>6月</td><td>84</td><td>19</td><td>19</td><td>122</td></tr> <tr><td>7月</td><td>85</td><td>23</td><td>23</td><td>131</td></tr> <tr><td>8月</td><td>79</td><td>33</td><td>33</td><td>145</td></tr> <tr><td>9月</td><td>53</td><td>47</td><td>47</td><td>147</td></tr> <tr><td>10月</td><td>47</td><td>53</td><td>53</td><td>153</td></tr> <tr><td>11月</td><td>48</td><td>48</td><td>48</td><td>144</td></tr> <tr><td>12月</td><td>24</td><td>61</td><td>61</td><td>146</td></tr> <tr><td>1月</td><td>20</td><td>61</td><td>61</td><td>142</td></tr> <tr><td>2月</td><td>10</td><td>67</td><td>67</td><td>144</td></tr> <tr><td>3月</td><td>0</td><td>139</td><td>139</td><td>278</td></tr> </tbody> </table>		月	介護	予防	総合	合計	4月	92	15	18	125	5月	88	18	18	124	6月	84	19	19	122	7月	85	23	23	131	8月	79	33	33	145	9月	53	47	47	147	10月	47	53	53	153	11月	48	48	48	144	12月	24	61	61	146	1月	20	61	61	142	2月	10	67	67	144	3月	0	139	139	278
月	介護	予防	総合	合計																																																														
4月	92	15	18	125																																																														
5月	88	18	18	124																																																														
6月	84	19	19	122																																																														
7月	85	23	23	131																																																														
8月	79	33	33	145																																																														
9月	53	47	47	147																																																														
10月	47	53	53	153																																																														
11月	48	48	48	144																																																														
12月	24	61	61	146																																																														
1月	20	61	61	142																																																														
2月	10	67	67	144																																																														
3月	0	139	139	278																																																														

⑤ 居宅介護支援事業（介護安心センター）

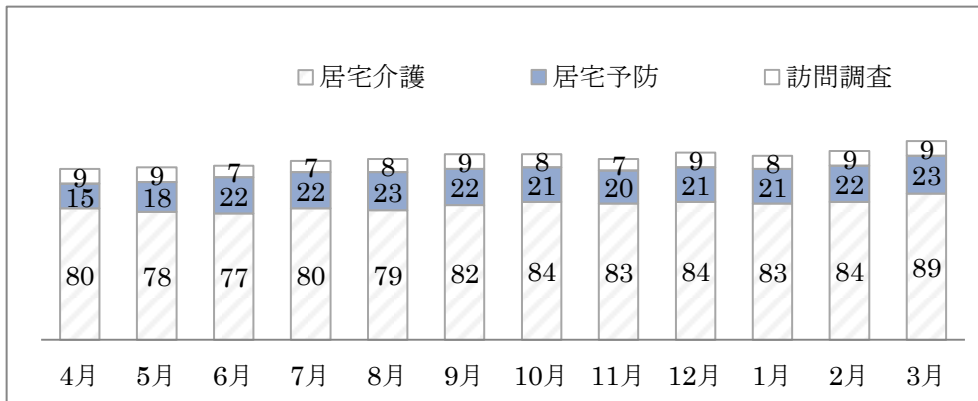
年間目標			
利用者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、利用者の幸福につながるようなマネージメントができるよう支援する。			
・利用者の尊厳と権利が守られるよう、利用者の立場にたち、公正中立なサービスを提供し、医療機関及び介護事業所との連携を図り、利用者が住み慣れた地域で生活が継続できるよう支援する。			
・研修や、業務の評価、自己評価を通し、ケアマネージメントの質の向上を目指す。			
・職員体制 主任ケアマネジャー 2名、ケアマネジャー 1名			
・利用者数 月平均 介護 90名 介護予防 12名 特定事業所加算Ⅲ			

実績

利用者の立場にたち、公平中立なサービスを提供を行った。
 医療機関及び介護サービス事業所と連携し、利用者が住み慣れた地域で安心して暮らせるようなマネージメントを行った。
 今後も新規依頼を受け、安定した利用者の確保をしたい。
 ケアマネ 1名退職のため減少し3名となる。

平成 29 年度

居宅介護利用者延人数	983 人	月平均 81.9 人	(H28 年度 1,041 人	平均 86.7 人)
予防ケアプラン作成延人数	250 人	月平均 20.9 人	(H28 年度 261 人	平均 21.7 人)
訪問調査延人数	99 人	月平均 8.2 人	(H28 年度 115 人	平均 9.6 人)



4. 児童福祉課

① 輪島市児童センター事業

年間目標																																																				
1. 安全に遊べる環境づくりと子どもたちの安心できる居場所づくりを行う。特に、子育て支援センターとの連携により0歳～18歳までの一貫した支援を目指す。 2. 児童センターを利用する小学校高学年、中高生がボランティア活動を通じて地域とのつながりが出来たり、自発的に活動出来たりするように支援する。 3. 子どもの健全育成に関わる地域の団体と連携・協力できる体制を築く。 4. 児童センター行事の中に輪島らしさを取り入れ、利用者に地元わじまを知ってもらう活動を行う。																																																				
実 績																																																				
1. 遊具の定期点検や消毒を行う。避難・防災訓練の実施（年12回）支援センターと連携し継続的な関りで未就学児から就学時児童を支援。不登校児童の居場所にもなった。 2. 小中高生のボランティアが参加した行事 9回 80名 ※わじまキッズランドの児童が定期的に行事に協力。おしごと体験は企画から参加。 ※暑中見舞いでボランティアは小学生から大人のボランティアが手作りはがきを作成→民生委員を通じて輪島地区の高齢者に届けられた。 3. ・輪島地区民生児童委員 23名が32日間、見守り活動 ・みらい子育てネット輪島 7回 214名（親子茶会、食育、ボランティア講座等） ・手作りおもちゃの会ぐりとぐら 20回 69名（布おもちゃの制作・貸出） ・ダディーズの会 3回 53名（木工教室、ハッピータイムの工作） ・輪島わくわくおもちゃの図書館 1回 12名（障害のある児童と保護者のサロン） ※地域の様々な世代が集い、子どもたちを見守り、関わる機会となった。 4. 輪島らしさを味わう食育（輪島ふぐ、いか）2回 17名（食育応援隊5名） 事前のおしごと体験 11カ所 105名 ※平成29年度は輪島塗の仕事も体験。 おしごと体験 10月9日 461名（うち大人ボランティア84名、中・高校生19名）																																																				
～平成29年度 年間来館者総数 25,935名～																																																				
<table border="1"> <caption>～平成29年度 年間来館者総数 25,935名～</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>乳幼児親子</th> <th>小学生</th> <th>中・高校生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4</td><td>1100</td><td>500</td><td>100</td></tr> <tr><td>5</td><td>1050</td><td>550</td><td>100</td></tr> <tr><td>6</td><td>1300</td><td>500</td><td>100</td></tr> <tr><td>7</td><td>1300</td><td>1200</td><td>100</td></tr> <tr><td>8</td><td>1300</td><td>1300</td><td>150</td></tr> <tr><td>9</td><td>1200</td><td>450</td><td>100</td></tr> <tr><td>10</td><td>1400</td><td>900</td><td>100</td></tr> <tr><td>11</td><td>1200</td><td>600</td><td>100</td></tr> <tr><td>12</td><td>1150</td><td>650</td><td>100</td></tr> <tr><td>1</td><td>900</td><td>500</td><td>100</td></tr> <tr><td>2</td><td>950</td><td>500</td><td>100</td></tr> <tr><td>3</td><td>1400</td><td>700</td><td>100</td></tr> </tbody> </table>	月	乳幼児親子	小学生	中・高校生	4	1100	500	100	5	1050	550	100	6	1300	500	100	7	1300	1200	100	8	1300	1300	150	9	1200	450	100	10	1400	900	100	11	1200	600	100	12	1150	650	100	1	900	500	100	2	950	500	100	3	1400	700	100
月	乳幼児親子	小学生	中・高校生																																																	
4	1100	500	100																																																	
5	1050	550	100																																																	
6	1300	500	100																																																	
7	1300	1200	100																																																	
8	1300	1300	150																																																	
9	1200	450	100																																																	
10	1400	900	100																																																	
11	1200	600	100																																																	
12	1150	650	100																																																	
1	900	500	100																																																	
2	950	500	100																																																	
3	1400	700	100																																																	
平成29年度もボランティア（690名）の協力で児童センターの活動が活発に行われた。																																																				

② 輪島市もんぜん児童館事業

年間目標																																																				
1. 地域子育て支援拠点事業として子育て等に関する相談・援助の実施のほか、子育て及び子育て支援に関する講習等の実施を行う。 2. 安全に遊べる環境づくりと整備を行う。 3. 地域、他施設との連携をする。(地域スポーツクラブ、母親クラブ、公民館、学校等) 4. 職員研修等により相談技術の向上を図る。																																																				
実 績																																																				
1. 育児サロン 年間実施回数 122回 93組参加。 ※体操で母と子の心と体をリフレッシュ。相談は職員、保健師と栄養士が対応 2. 遊具の点検と消毒。平成 29 年度土砂災害避難マニュアル作成し避難訓練を実施。 3. ○スポーツ教室（もんぜんスポーツクラブ）12回 （支援学校含む 372名参加） ※サッカー、ビーチボールバレー等のルールを覚え元気に身体を動かす。スポーツを通じて異年齢児と交流や障害の有無に関わらず助け合える関係をつくる機会になった。また支援学校との連携で、定期的に子どもたちが交流する機会となった ○みらい子育てネット輪島ともこもこクラブ 共催 3回 148名 (交通安全マスコット作り、夏祭り、クリスマス会) ※地域の親子が児童館で交流。 ○保育所、支援学校、児童館利用の子どもたち 99名がミニ夏祭りで交流。 ○もんぜんダンスクラブの活動は 10 年目。月 2 回練習。地域活動は年 8 回 4. 研修会「対人援助職の家族理解」寺本紀子氏（2回）相談技術の向上に努めた。 ※子育てに悩みを持つ家族のサポートを継続的に行った。 ※宿題コーナーを設け、放課後の子どもの居場所づくりをした。 ※子育てサロンではお茶を飲みながら気軽に集えて話せる環境づくりを行った。 ～平成 29 年度 年間来館者総数 11,682 名～																																																				
<table border="1"> <caption>月別来館者数（推定値）</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>乳幼児親子</th> <th>小学生</th> <th>中・高校生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4</td><td>220</td><td>720</td><td>50</td></tr> <tr><td>5</td><td>210</td><td>650</td><td>50</td></tr> <tr><td>6</td><td>180</td><td>720</td><td>50</td></tr> <tr><td>7</td><td>230</td><td>620</td><td>100</td></tr> <tr><td>8</td><td>280</td><td>1020</td><td>120</td></tr> <tr><td>9</td><td>210</td><td>720</td><td>100</td></tr> <tr><td>10</td><td>200</td><td>750</td><td>100</td></tr> <tr><td>11</td><td>120</td><td>680</td><td>80</td></tr> <tr><td>12</td><td>150</td><td>650</td><td>100</td></tr> <tr><td>1</td><td>80</td><td>580</td><td>50</td></tr> <tr><td>2</td><td>120</td><td>580</td><td>80</td></tr> <tr><td>3</td><td>280</td><td>720</td><td>150</td></tr> </tbody> </table>	月	乳幼児親子	小学生	中・高校生	4	220	720	50	5	210	650	50	6	180	720	50	7	230	620	100	8	280	1020	120	9	210	720	100	10	200	750	100	11	120	680	80	12	150	650	100	1	80	580	50	2	120	580	80	3	280	720	150
月	乳幼児親子	小学生	中・高校生																																																	
4	220	720	50																																																	
5	210	650	50																																																	
6	180	720	50																																																	
7	230	620	100																																																	
8	280	1020	120																																																	
9	210	720	100																																																	
10	200	750	100																																																	
11	120	680	80																																																	
12	150	650	100																																																	
1	80	580	50																																																	
2	120	580	80																																																	
3	280	720	150																																																	
地域や世代をつなぐ場。今後もすべての子ども、子育て家庭を対象とし切れ目のない支援を行う。																																																				

③ ジュニアボランティア事業

年間目標
<p>小学生が中心となり、地域の高齢者・障害者とのふれあいを通じて、思いやりの心を育み、ボランティア活動に興味関心を持つ機会とする。</p> <p>児童センター及び児童館利用者を中心に高齢者、障害者施設を訪問し交流する活動を行う。</p>
実 績
<p>河井地区7回（児童センター）・門前地区16回（もんぜん児童館）・大屋地区9回</p> <p>○ジュニアボランティア講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「介助犬を知ろう！」 平野友明氏 タフィ（児童センター36名、児童館50名） ・「聴覚障害者の暮らしと手話を知る」森下氏、矢部氏（児童センター26名児童館30名） ・「すべての子どもにボランティアの灯を」佐々木健治氏（児童センター22名） ・「災害食体験」 橋本良子氏（児童館25名） ・「認知症サポーター養成講座」 輪島市地域包括支援センター田中氏（大屋10名） ・「わらべうた講習会」 坂本理恵氏（大屋30名） <p>○地域交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンドベルクラブ、手話であ・そ・ぼ（13名）演奏、手話コーラス （あての木園老人福祉施設、弘和会、笑ちゃげや訪問） ・暑中ハガキでボランティア（児童センター、児童館41名） ・ミニ夏祭り お化けやしきの企画、スタッフ（児童館38名） ・災害食の体験を児童館で紹介（児童館25名） ・もんぜんダンスクラブ（18名）あかかみ、楓の家、敬老会等、高齢者施設訪問8回 ・クリーン作戦（児童館30名、大屋35名） ・グループホームひなたぼっこ（大屋10名）訪問2回 レクリエーション、交流 ・ふれあいプラザ二勢交流会（大屋15名）訪問5回 レクリエーション、花植え ・読み聞かせボランティア河井保育所（大屋10名） <p>○平成29年度ジュニアボランティアは輪島市内3カ所で年間32回行われた。</p> <p>児童はジュニアボランティア講座で、様々な立場の人が地域で助け合いながら共に暮らしていることを学び、自分にできることは何か意見を出し合い考えた。受講後は地域で活動した。</p> <p>高齢者施設訪問では、高齢者に合ったレクリエーションを企画し行う。児童センターや児童館行事でも企画から積極的にボランティアができるようになり自主性が育っている。今後も多くの児童が気づき・考え・行動できるように、ジュニアボランティア講座と地域交流で福祉への理解と視野を広げる機会を設けたい。</p>

④ 放課後児童健全育成事業（児童クラブ）

年間目標																														
1. 保護者の安心を得るとともに児童の保護を図りながら、異年齢集団での遊びや活動とおして心身の健全な育成を図る。 2. 職員研修等により相談技術等の向上を図る。 3. イベント等の企画、実施により地域との交流を図る。 4. 他の児童クラブ利用児童を含む市内小学生間の幅広い交流活動を行う。 5. 児童クラブ利用世帯のさまざまな困りごとに対応できるよう保護者との信頼関係の構築に努める。																														
実 績																														
1. 放課後児童運営指針第6章より12児童クラブ共通の危機管理マニュアルを策定。児童の安全と健康管理を行う。異年齢の児童が共に過ごす環境づくりに配慮した。 2. 支援員資格認定研修全8日間、11名参加。(33名中22名が資格取得) 相談技術向上研修会年2回 寺本紀子氏(社会福祉士) 職員30名 年間相談件数186件(発達・学校・家庭・友だち関係について) ※子どもの気になる行動についての相談は保護者、学校、関係機関と連携し対応。 3. 漆芸体験、地域清掃活動、保育所との交流、三井公民館まつりではまちづくり発表。 4. 8月18日サン・アリーナ「じどうクラブまつり 思いっきりあそぼう」(320名) 市内の小学生260名と一互一笑放課後デイの10名が参加。あそびで交流。 福祉・防災コーナーも体験。ボランティア20名(高校生、大学生含む) 5. 児童クラブ保護者アンケート実施230世帯中192世帯回答(回答率83%) ・「満足度」 非常に満足、満足が75%どちらもいえない5%、やや不満4%不満1% ・「何年生まで利用したいか」 6年生までを利用する回答が全体の47%あった。 ・「期待すること」 ①安全安心な放課後を過ごす ②学習の習慣を身につける ③異年齢児との関わり ※高学年になっても利用を希望する保護者が多くいた→高学年の居場所づくりと発達に応じた個々の支援、学習の環境づくりを行う。																														
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>「満足度」</p> <table border="1"> <caption>「満足度」</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常に満足</td> <td>29%</td> </tr> <tr> <td>満足</td> <td>46%</td> </tr> <tr> <td>どちらともいえない</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>未回答</td> <td>17%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>「在籍児童数の推移」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年</th> <th>平成28年</th> <th>平成29年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童数</td> <td>300</td> <td>305</td> <td>314</td> </tr> <tr> <td>うち4年生以上</td> <td>39</td> <td>45</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>うち特別支援</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>※4年生以上が増えている。 支援が必要な児童が増えている。</p> </div> </div>	満足度	割合	非常に満足	29%	満足	46%	どちらともいえない	5%	やや不満	4%	不満	1%	未回答	17%		平成27年	平成28年	平成29年	児童数	300	305	314	うち4年生以上	39	45	52	うち特別支援	6	7	10
満足度	割合																													
非常に満足	29%																													
満足	46%																													
どちらともいえない	5%																													
やや不満	4%																													
不満	1%																													
未回答	17%																													
	平成27年	平成28年	平成29年																											
児童数	300	305	314																											
うち4年生以上	39	45	52																											
うち特別支援	6	7	10																											

5. くらしサポートセンターわじま

① 生活困窮者自立相談支援事業

年間目標																							
<p>生活困窮者自立支援法に基づく生活困窮者自立支援制度の実施</p> <p>※経済的な問題のみならず、精神的な問題、家庭の問題、健康上の問題など複合的な問題を抱えた生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援する。本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援や就労支援等を実施し、経済的、社会的並びに日常生活的自立を促進する</p> <p>・自立を支援するために、生活困窮者一人ひとりの状況と、支援に携わる人の思いを大切にしながら、信頼関係を構築し、的確なニーズを把握し、自己決定、自己選択の可能性を広く持てるように努める。</p>																							
実 績																							
<p>くらしサポートセンターわじま</p> <p>新規相談数 42件 (そこから契約に至った件数8件)</p> <p>延べ相談対応件数 1,139件</p> <p>平成30年3月31日末の契約数 19件 (H29年度中に5件終結)</p> <p>・関係者会議 (月1回)</p> <p>平成29年度 9回開催</p> <p>福祉課各担当 (生活保護、障害等) との連絡、月次相談件数、新規相談件数の報告</p> <p>・支援調整会議 (随時)</p> <p>平成29年度 7回開催</p> <p>契約ケースに変化があった時等、福祉課各担当や関係機関 (ハローワーク等) への連絡の為、実施し支援計画の見直し、評価、終結について意見交換助言をもらっている。</p> <p>・事業の啓発・普及 (相談窓口としての周知を図る)</p> <p>輪島市民生委員・児童委員協議会会長会議出席 10回出席</p> <p>地域で対象者がいればすぐ相談対応するために出席した。会議後、民生委員から相談を受けることもあった。</p> <p>・研修会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日 時</th> <th>研修名</th> <th>場 所</th> <th>参加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年5月29日</td> <td>生活困窮者自立支援法に関する研修会 初任者研修</td> <td>県庁</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>平成29年8月31日</td> <td>生活困窮者自立支援法に関する研修会 生活困窮者就労支援事業について</td> <td>県庁</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>平成29年6月2日</td> <td>精神保健福祉医療担当者研修会①</td> <td>奥能登行政 センター</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>平成29年6月16日</td> <td>精神保健福祉医療担当者研修会②</td> <td>奥能登行政 センター</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>				日 時	研修名	場 所	参加	平成29年5月29日	生活困窮者自立支援法に関する研修会 初任者研修	県庁	2人	平成29年8月31日	生活困窮者自立支援法に関する研修会 生活困窮者就労支援事業について	県庁	3人	平成29年6月2日	精神保健福祉医療担当者研修会①	奥能登行政 センター	2人	平成29年6月16日	精神保健福祉医療担当者研修会②	奥能登行政 センター	1人
日 時	研修名	場 所	参加																				
平成29年5月29日	生活困窮者自立支援法に関する研修会 初任者研修	県庁	2人																				
平成29年8月31日	生活困窮者自立支援法に関する研修会 生活困窮者就労支援事業について	県庁	3人																				
平成29年6月2日	精神保健福祉医療担当者研修会①	奥能登行政 センター	2人																				
平成29年6月16日	精神保健福祉医療担当者研修会②	奥能登行政 センター	1人																				

平成 29 年 7 月 20 日	石川県発達障害支援センター関係機関研修会	地場産業振興センター	3 人
平成 29 年 8 月 14 日 9 月 21 日 11 月 17 日	石川県発達障害者等相談支援従事者育成研修会①発達障害の理解②自閉症スペクトラムのコミュニケーション支援③就労支援	奥能登行政センター	3 人
平成 29 年 7 月 4 日 ～6 日	自立相談支援事業者養成研修 前期・共通課程	東京都全社協 灘尾ホール	2 人
平成 29 年 8 月 23 日 ～25 日	自立相談支援事業者養成研修 後期・主任相談支援員課程	神奈川県全社 協福祉学院	1 人
平成 29 年 11 月 20 日 ～22 日	自立相談支援事業者養成研修 後期・相談支援員課程	大阪市 OMMC ホール	1 人
平成 29 年 9 月 21 日	自殺対策ネットワーク会議「死にたいと言われた時の対応について」	奥能登行政センター	1 人
平成 29 年 11 月 2 日	権利擁護セミナー「親亡きあとも安心して地域で生活するために」	地場産業振興センター	1 人
平成 30 年 2 月 27 日	福祉サービス利用支援生活支援員研修 「成年後見制度・認知症支援」	金沢ものづくり会館	1 人
平成 30 年 3 月 22 日	ひきこもり対策ネットワーク会議	県こころの健康センター	1 人

・関係機関との連携

福祉課、健康推進課、税務課、市民課、水道局、ハローワーク、ピアサポート北のと、北陸電力、医療機関等から情報提供や助言を受け、相談者の生活状況・健康状態等に応じて、支援をしている。

② 生活福祉資金貸付事業

年間目標	
石川県社会福祉協議会の貸付制度で、生活困窮者、障害者又は高齢者に対し、資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにする。	
・貸付の相談から申請、決定後の返済計画までを相手の立場に立って随時実施。	
実績	
平成 29 年度	新規取次件数 2 件 貸付決定件数 1 件（生活福祉資金教育費 1 件）

③ 北山貸付事業

年間目標	
生活福祉資金の貸付制度の該当にならない方で、緊急に生活資金が必要とされる方に対し必要な援助指導を行う事により、安定した生活を送れるようにする。	
・貸付の相談から申請、決定後の返済計画までを相手の立場に立って随時実施。	
実績	
平成 29 年度	新規貸付件数 14 件
〃	貸付金額合計 157,000 円
〃	償還金額合計 271,300 円（過年度貸付分含む）

④ 生活困窮者福祉資金貸付事業

年間目標	
困窮者への新たな貸付制度として、金融機関や他制度で借入が困難な者で、生活・就労に車が必要な方への「車購入支援資金」、進学・就職時に必要な資金を貸付できる「青春チャレンジ資金」を創設。貸付から返済計画・相談援助指導を行う。	
・資金の周知を図る。	
・資金の貸付から返済計画、その後の生活状況の見守り確認など、継続的に支援を行う。	
・生活困窮者自立支援事業の利用契約を締結し、必要に応じ家計支援・就労支援を行う。	
実績	
輪島市民生委員・児童委員協議会会長会議にて説明を行い、各民生委員・児童委員への周知をお願いする。また、輪島高校、門前高校の進路指導担当教諭と面談し新支援資金の紹介を行った。	
社協だより 10 月号・2 月号に掲載し、市民への周知を図る。	
平成 29 年度	新規貸付件数 7 件 (6 名)
・車購入支援資金	件数 3 件 (3 名)
	貸付金額合計 1,180,000 円
	償還金額合計 94,000 円
・青春チャレンジ支援資金	件数 4 件 (3 名)
	貸付金額合計 1,330,000 円
	償還金額合計 830,000 円

⑤ 心配ごと相談事業

年間目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 弁護士による法律相談 (年 16 回) ・ カウンセラーによる相談 (週 1 回) ・ 心配ごと相談 (門前地区年 12 回) 							
実績							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談体制の充実 一般相談 社協職員が随時、電話来所に対応した。 心配ごと相談 (門前地区) 月 1 回、門前地区民生委員が門前保健センターに於いて実施 弁護士相談 年 16 回実施 カウンセラーによる相談 毎週金曜日 (44 回) 実施 介護、子育て相談については介護福祉課、児童福祉課でそれぞれ随時対応した。 							
・ 年度別ふれあい相談件数							単位：件
	一般相談		弁護士	カウンセラー	介護	子育て	計
	社協職員	門前地区 民生委員					
H26 年度	28	14	44	100	12	90	288
H27 年度	17	7	50	91	4	108	277
H28 年度	34	8	40	107	12	80	281
H29 年度	61	7	44	87	29	186	414

年度別ふれあい相談件数

年度	一般相談 (社協)	一般相談 (民生)	弁護士	カウンセラー	介護	子育て	計
H26年度	28	14	44	100	12	90	288
H27年度	17	7	50	91	4	108	277
H28年度	34	8	40	107	12	80	281
H29年度	61	7	44	87	29	186	414

職員で受けた一般相談について平成 29 年度は、高齢者の生活や介護に関する相談が 61 件中 40 件あった。その他、医療や生計に関する相談等、どこに相談してよいかわからないという相談は本人の了解を得て関係機関（福祉課、地域包括支援センター病院等）につなげている。これまで高齢者や認知症に関する相談は、地域包括支援センターの職員につなげていたが今年度から介護福祉課と同じフロアになったので社協内でしっかり対応していきたい。子育てに関する相談が平成 29 年度は前年度と比べると 2.3 倍となっている。

6. 災害ボランティアセンター運営事業

① 災害ボランティア運営連絡会

年間目標
1. 災害ボランティア運営連絡会を開催する。(年3回程度予定) 2. 市民に向けての広報活動を行う。 3. 災害ボランティアセンターの運営に関し、職員研修を行う。 4. 災害時職員参集マニュアル検証・確認をする。
実 績
1. 災害ボランティアセンター運営連絡会 年3回 委員12名 準備室員4名(社協) 災害時に災害ボランティアセンターの運営が円滑に行われるよう、日頃から連絡会で組織間の連携を図る <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 平成29年7月13日(木) 「平成29年度輪島市総合防災訓練と輪島市の現状」 「災害ボランティアセンター全国フォーラム報告」 ・第2回 平成29年10月15日(日) 「輪島市総合防災訓練における災害ボランティアセンター運営訓練の実施」視察と評価 アウトリーチ(現地ニーズ調査)訓練参加者40名 「災害ボランティアセンターについて」 ・第3回 平成30年2月23日(金) 「大雪、断水時の対応について、輪島市の備え」 「輪島市災害ボランティアセンターマニュアルについて」
2. 社協だよりにて広報。かわら版にて防災コラムを掲載し日頃からの備えを呼びかけた。
3. 職員が研修会に参加 <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年 5月26・27日 「災害時の連携を考える全国フォーラム」 東京都1名 ・平成29年10月 3・4日 「全国災害ボランティアセンター運営者研修」福井県2名 ・平成30年 2月17日 「災害対策ボランティア現地本部運営力向上研修会」七尾市2名 ・平成29年7月・11月 「災害時における事業継続計画策定(BCP)」鍵屋一氏 研修会 ※社協全課職員が災害時にも必要な業務が行われるよう、事業継続計画策定に向け学んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・職員による「災害ボランティアについて」出前講座5回 南志見地区民生委員会、日本航空大学校、ボランティアフェスティバル、 母子保健推進員、防災士スキルアップ研修
4. 委員、担当者連絡先等、異動等により一部変更を連絡会にて確認。

その他の各種福祉推進事業

1. 出前福祉教室

職員を講師として派遣し、講座や実習等を実施することにより、市民が福祉について理解を深める機会としました。

実施日	場所	内容
4月10日	大野集会所	健康体操教室
5月10日	下黒川集会所	防災教室
5月25日	諸岡公民館	高齢者疑似体験
6月5日	門前本郷公民館	安心のしくみ
6月5日	大野集会所	健康体操教室
6月30日	三井茅葺庵	安心のしくみ
7月3日	大野集会所	健康体操教室
7月12日	下山高齢者グループ	防災教室
7月15日	ふれあいプラザ二勢	福祉レクリエーション
7月19日	鳳至公民館	防災教室
7月23日	縄又藤池集会所	安心のしくみ
8月17日	諸岡公民館	福祉レクリエーション
9月20日	輪島公民館	高齢者疑似体験
9月27日	町野小学校	ユニバーサルデザイン、点字体験
11月8日	下山集会所	健康体操教室
11月8日	下黒川集会所	福祉レクリエーション
11月16日	諸岡公民館	安心のしくみ
2月6日	ふれあい健康センター	社会福祉協議会の仕事について
2月11日	やぶ新橋店	介護保険サービスの選び方
2月15日	門前保健センター	安心のしくみ
2月17日	大屋公民館	共同募金について 区長会

2. 職員の出張及び研修状況

期日	出張内容	出張者
4月19日	市民児協事務局連絡会議	地域福祉課
4月27日	平成29年度第1回市町老連会長・事務局担当者会議	地域福祉課
5月11日	平成29年度第1回市町社会福祉協議会事務局長会議	事務局長
5月14日	ホームヘルパー協議会総会・研修会	介護福祉課
5月15日	石川県同行援護従業者養成研修一般課程補講	介護福祉課
5月19日	平成29年度能登地区児童館連絡協議会総会	児童福祉課
5月22日	平成30年3月新規学校卒業者を対象とした求人説明会	総務課
5月23日	平成29年度年金講習会	総務課
5月26日～5月28日	災害時の連携を考える全国フォーラム研修会	くらしサポートセンター
6月9日	福祉サービス利用支援事業基幹的社協専門員連絡会議	地域福祉課
6月11日	全国学童保育指導員学校	児童福祉課
6月14日	基礎講座シリーズ1 放課後児童クラブ支援員の役割	児童福祉課
6月15日	基礎講座シリーズ2 子どもの発達	児童福祉課
6月16日	精神保健福祉医療担当者研修会	くらしサポートセンター
6月21日	石川県内社協職員連絡協議会 第1回理事会	地域福祉課
7月4日	平成29年度石川県放課後児童クラブ団体連絡協議会	児童福祉課
7月4日～7月6日	平成29年度自立相談支援事業従事者養成研修(前期)	くらしサポートセンター
7月11日	広がれ子ども食堂の輪！いしかわ推進会議	事務局長 児童福祉課
7月13日	平成29年度石川県内社会福祉協議会職員連絡協議会総会	地域福祉課 児童福祉課
7月28日	平成29年度石川県老人クラブリーダー研修会	地域福祉課
7月31日	平成29年度県老人クラブリーダー研修会	事務局長 地域福祉課
8月9日	福祉サービス利用支援事業にかかるガイドライン説明会	地域福祉課
8月21日	成年後見制度にかかる担当者連絡会	地域福祉課
8月21日～8月23日	市福祉課と秋田県藤里町社協共同視察研修	事務局長
8月22日～8月26日	生活困窮者自立支援制度人材育成研修会(後期)	くらしサポートセンター
8月25日	平成29年度石川県老人クラブ女性リーダー研修会	地域福祉課
8月28日	平成29年度市町社会福祉協議会共同募金委員会	事務局長
8月30日	平成29年度認定調査現任研修	介護福祉課
9月1日	福祉サービス利用支援事業基幹的社協専門員連絡会議	地域福祉課
9月4日	公正な採用選考推進研修会	総務課
9月14日	第16回「老人の日・老人週間制定記念」石川県知事杯グラウンドゴルフ	地域福祉課
9月14日	改正育児・介護休業法等説明会	総務課
9月12日～10月26日	平成29年度石川県放課後児童支援員認定資格研修 全8日	児童福祉課

期日	出張内容	出張者
9月25日	発達障害 気になる子を理解する	児童福祉課
10月3日	認知症高齢者の傾聴講座	介護福祉課
10月3日～10月4日	福祉職員キャリアパス中堅職員研修	地域福祉課
10月3日～10月4日	平成29年度第2回災害ボランティアセンター運営者研修	地域福祉課 児童福祉課
10月11日～10月12日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダー研修	児童福祉課
10月17日	石川県社会福祉大会	総務課
10月18日～10月19日	無料職業紹介所責任者講習会	くらしサポートセンター
10月24日～10月25日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者編	児童福祉課
11月7日～12月5日	石川県放課後児童支援員研修「現場実践力向上」全3日	児童福祉課
11月8日	民生委員制度創設100周年記念・石川県大会	地域福祉課
11月9日	能登北部地域ボランティアのつどい	地域福祉課
11月13日～11月14日	輪島市老人クラブ連合会リーダー研修	事務局長 地域福祉課
11月16日	感染症予防研修会	児童福祉課
11月16日	介護支援専門員実務研修実習指導者養成研修について	介護福祉課
11月18日～11月19日	ボランティア全国フォーラム	事務局長
11月19日～11月23日	生活困窮者自立支援制度人材育成研修会(後期)	くらしサポートセンター
11月26日	石川県学童保育研究集会	児童福祉課
11月29日	平成29年度 能登地区児童館研修	児童福祉課
12月5日	石川県放課後児童支援員等研修事業「現場実践向上研修」	児童福祉課
12月8日	福祉サービス利用支援事業基幹的社協専門員連絡会議	地域福祉課
12月9日～12月10日	第13回全国若者・ひきこもり協同実践交流会	くらしサポートセンター
1月19日	介護支援専門員実務者研修「課題整理総括表実践講座」	介護福祉課
3月4日	福祉有償運送運転車講習会	介護福祉課
3月5日	福祉サービス利用支援事業基幹的社協専門員連絡会議	地域福祉課
3月6日	社協活動推進会議	事務局長
3月7日	市社協 事務局長会議	事務局長
3月15日	平成29年度 市町社協ボランティア連絡会	地域福祉課
3月20日	介護保険制度改正 説明会	介護福祉課
3月23日	障害者総合支援法等に係る事業者説明会及び集団指導	介護福祉課